

方城町の人口

(3月1日現在)

人口	7,915人
男	3,808人
女	4,107人
世帯数	2,094戸

町報

ほうじょう



発行所

福岡県田川郡方城町

印刷所

佐々木印刷所

米の生産調整に理解と協力を!!

日本民族と米は切り離せないものです。それは米がもっとも大切な国民食糧であり、また農業生産の大宗であるからです。米の豊凶に日本民族はいつも一喜一憂してきました。

戦後の食糧難を克服して今日みられるようなめざましい農業生産力水準に達したのは農家の皆さんの努力の賜であり、日本農業の底力のあらわれであるといえます。

ところで、ここ数年の間に米の生産と消費の間に重大な変化がでてきました。米の消費が減る反面、生産が著しく増加し、その結果、長い間不足きみだつた米が過剰状態になってきたのです。

政府手持の古米在庫は、四十四年十月末には五百六十万トンになり、さらに四十四年産米も千四百万トンという豊作でしたので、このままでは四十五年十月末に約八百万トンにもなると予想されます。しかも、このように米の過剰状態は、いまや一時的なものではなく恒常的なものとなってきています。

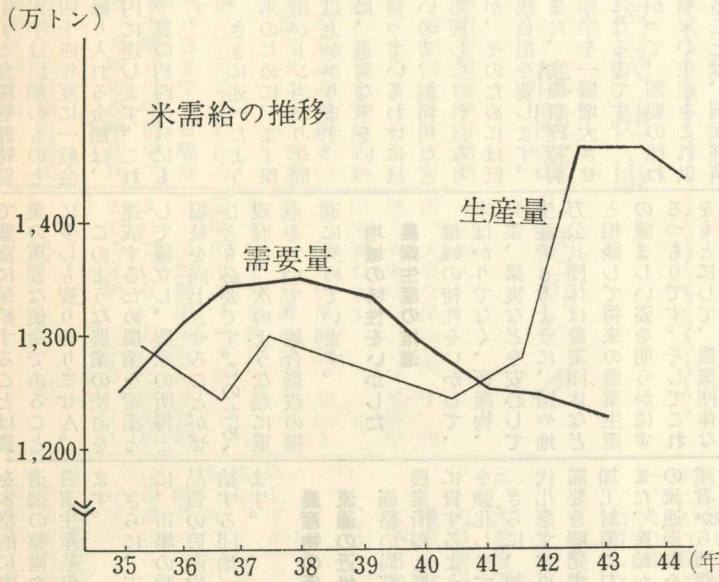
国民が必要とする以上の多量の米の生産をこれ以上続けることはできません。過剰となった古米はなんとか処理するとしても、四十五年以降も消費を大幅に上まわる米の生産が続けば、政府として、米の管理制度の根幹を維持するためにもどのように努力しても困

難な事態になることは明らかです。そこで、米の需要の拡大に努力する一方、うまい米作りを一層進めることが必要です。しかし、それだけでなく、米の生産を需要に見合せて早急に縮小することがどうしても必要となっているのです。

米は、わが国農業の基幹作物であり、農業生産全体の地位からしても、農家経済のうえからみても、その生産を縮小することは大変困難なことであることは十分わかっています。しかし、この際、政府と農家のご理解とご協力をえて、わが国農業の長期的な発展のために、非常緊急の措置として、一五〇万トン以上を目標に米の生産調整を行ないたいと考えています。

そのためには、まず地域の実情に応じて、稲から需要の多い他の作物へ転換することが最も望ましいことです。また、土地改良事業を夏の間に実施することも考えられます。しかし、いろいろな条件から早急に転換することが難しい場合もありますので、その場合は一時的に休耕をするということもありません。

いずれにしても、地域に即した方法で、米の生産を早急に縮小することにご協力をお願いしたいと思います。政府としては、このような米の生産調整を円滑に進めるため、生産調整奨励金を交付するなどの援助を行なう方針です。そして、都道府県や市町村の関係者、農業団体の皆さんにも、協力をお願いし、農業改良普及員などが経営技術の面で農家の皆さんのご相談に応じるなど、官民一体の推進体制をととのえます。



このため昨年産米から稲作の転換の推進にとりかかりましたが、今年産米からこれを本格的に実施しなければなりません。

この結果、政府の古米在庫は、四十四年十月末で約五六〇万トン(配給量の一〇か月分)となり、いまのままでは、四十五年十月末には約八〇〇万トンにも達するものと見込まれます。さらにこのまま推移すれば、生産量を平年作としてみても、これに年々約一五

昭和四十五年一月 農林省